

佛道遺書後編

卷之四

911.307

17989 卷







俳諧道しるべ後篇

● 俗語雅辯

茲は集記するところのもの、俗語の四字は依りて  
 搜し、其の雅言を知得せしめんとし、いろいろは別と  
 したり、是れ初學の人、其の趣向の立ちあがら、其  
 の詞、心のまゝ、よいひ出づるもの難きとさあれば、之  
 は依て詳悉せしめんと意は出でしかり、然れども人  
 或ひは曰はん、そ俳諧の如きは、平易通俗の語  
 を以てするものあれば、殊更に雅言を知るの必要なき  
 と、成程其の説のごとしといへども、強ち俗語のみを



以てせば、獨り其の句の卑賤あるのみならず、往々方言等の交りて解しがたきものなきよしもあらず、而して此の篇ひとり俳諧に専らあるのみならず、和歌、和文、連歌等を詠むよしも其の必要たることを論を待たず、是れ特は茲に掲げたる所以あり。

●らの部(おも此中に)

らまゝでとかはる (ことばある)

らふよらばれぬ (うらなうらぬをいふはれぬ)

らつちでまはさる (おもはせり命なきの事に用ひ)

らひだす (ことばにうつるをいふはる)

らこばらよめる (みる) らぢぶんよ (身ぶるを)

らやがるほむさほ (うらやまはる)

らつでもかはらぬ (おもはせらるるをいふ)

らつとさしよ (時をいふおもへんかたをいふ)

らくかもくして (日いろくして日を隠す)

らろくともさる (おもひおもへる)

らんささ (うらなうらぬをいふ)

らぢんよ (おもへんかたをいふ)

らつちま (おもひおもへんかたをいふ)

らまよさる (おもひおもへんかたをいふ)

らつちやうさる (おもひおもへんかたをいふ)



S R S N U (S R S N U)  
 S R S N U (S R S N U)  
 S R S N U (S R S N U)  
 S R S N U (S R S N U)  
 S R S N U (S R S N U)  
 S R S N U (S R S N U)  
 S R S N U (S R S N U)  
 S R S N U (S R S N U)  
 S R S N U (S R S N U)  
 S R S N U (S R S N U)

S R S N U (S R S N U)  
 S R S N U (S R S N U)  
 S R S N U (S R S N U)  
 S R S N U (S R S N U)  
 S R S N U (S R S N U)  
 S R S N U (S R S N U)  
 S R S N U (S R S N U)  
 S R S N U (S R S N U)  
 S R S N U (S R S N U)  
 S R S N U (S R S N U)



シビかはしやへんへたる (シカヒカシヤヘンタル)

シビ出れぬ (シカヒカシヤヘンタル) 山吹  
の花の色もよき花の口もよき

シカぢ (シカヂ)

シカぢる (シカヂル)

シカぢとす (シカヂトス)

シカぢから (シカヂカラ)

シカぢせ (シカヂセ)

シカぢうが (シカヂウガ)

シカぢは (シカヂハ)

シカまよ待つて居る (シカマヨマツテイル)

シカぢる (シカヂル)

シカぢの (シカヂノ)

シカぢ (シカヂ)

シカぢ (シカヂ)

シカぢ (シカヂ)

シカぢ (シカヂ) ○シカぢ (シカヂ)

シカぢ (シカヂ)

シカぢ (シカヂ)

シカぢ (シカヂ)



しと廻りよする (Sikuriro-sayaru)  
 しひわけばかり (shiwakebary)  
 しひつぎをする (shitsugisu)  
 しけんする (shikenosu)  
 しどまごひする (shidomagoisu)  
 しかつがまこと (shakugamato)  
 しまでりまた (shimadeta) ○Sぢみめん (shimien)  
 しひて見ればさひこの (shihite mirereba sakono)  
 しけたりころしたり (shiketari koroshitari) (Sはみるしか人を叱るに用ゆるなり)  
 居おころ (iokoro)

しぢみすゝんで (shichimusunde)  
 しぢぢみ (shichichimi) (Sはぢぢに遊む事)  
 しひせてのあゑ望みぢぢ (shihetenuo aewemichichimi)  
 しんせんよする (shinsen yosu) (Sはせんよする)  
 しんぢぢぢ (shinchichichi) (Sはぢぢぢに遊む事)  
 しぢぢぢぢ (shichichichichi) (Sはぢぢぢぢに遊む事)  
 しぢぢぢぢぢ (shichichichichichi) (Sはぢぢぢぢぢに遊む事)  
 しぢぢぢぢぢぢ (shichichichichichichi) (Sはぢぢぢぢぢぢに遊む事)  
 しぢぢぢぢぢぢぢ (shichichichichichichichi) (Sはぢぢぢぢぢぢぢに遊む事)  
 しぢぢぢぢぢぢぢぢ (shichichichichichichichichi) (Sはぢぢぢぢぢぢぢぢに遊む事)  
 しぢぢぢぢぢぢぢぢぢ (shichichichichichichichichichi) (Sはぢぢぢぢぢぢぢぢぢに遊む事)  
 しぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ (shichichichichichichichichichichi) (Sはぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢに遊む事)  
 しぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ (shichichichichichichichichichichichi) (Sはぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢに遊む事)

338552



しまるぢやない (しまるぢやない)  
 しひまざる (しまるぢやない) ○しまるぢやない (しまるぢやない)  
 しまるぢやする (しまるぢやする) (しまるぢやする)  
 いらぬ物も捨てものせぬ (いらぬ物も捨てものせぬ)  
 生<sup>ま</sup>て居る間が少ぢや (生<sup>ま</sup>て居る間が少ぢや)  
 しまるぢや (しまるぢや) しまるぢや (しまるぢや)  
 しまるぢや (しまるぢや) (しまるぢや)  
 しまるぢや (しまるぢや) (しまるぢや)  
 居<sup>る</sup>ぢや (しまるぢや) ○しまるぢや (しまるぢや)  
 しまるぢや (しまるぢや) ○しまるぢや (しまるぢや)

しまるぢや (しまるぢや) (しまるぢや)  
 しまるぢや (しまるぢや) (しまるぢや) ○しまるぢや (しまるぢや)  
 しまるぢや (しまるぢや) (しまるぢや)  
 しまるぢや (しまるぢや) (しまるぢや)  
 しまるぢや (しまるぢや) (しまるぢや)  
 しまるぢや (しまるぢや) (しまるぢや)  
 しまるぢや (しまるぢや) (しまるぢや)  
 しまるぢや (しまるぢや) (しまるぢや)  
 しまるぢや (しまるぢや) (しまるぢや)  
 しまるぢや (しまるぢや) (しまるぢや)



















はえしげる (おひこげる)

はさすすゝるあびる (はなすすりする。泣くよも老人よも)

(あ)

はまをかむ (はまうまらみて。位まやむ有様あり)

はらぐゝたぢぢぢぢ (はらぐゝたぢぢぢ)

はげものゝやうを (くゝぐゝぢぢぢ)

はつくんぢ (ぬけたる。おひさしやうぢぢぢ)

はらる (おりたつ。田の中、川の中など。はらる事。用ゆる事)

はずからよ (なゝめた)

はらたてる (はらたつ。おまかせ)

はらぐゝぢぢぢ (ぢぢぢぢ)

はれたぢ (せまたたぢ)

はずまはやらぢ (そまたのぢぢ)

はをもれる聲 (ぢぢぢぢ)

はひあるく (はひあるく)

はまぢかす (ぢぢぢぢ)

はぬけのものSぢ (ぢぢぢぢ)

はしくれ (はたか。おたか)

はづみまかゝつて (ぢぢぢぢ)

はのぬけた人のくちもぢ (ぢぢぢぢ)



はさがたへ (はさへ<sup>ハサヘ</sup>、はさ<sup>ハサ</sup>、はさ<sup>ハサ</sup>、はさ<sup>ハサ</sup>、はさ<sup>ハサ</sup>)

はつかしまがら見る (はつ<sup>ハツ</sup>、か<sup>カ</sup>、ま<sup>マ</sup>、が<sup>ガ</sup>、ら<sup>ラ</sup>、見<sup>ミ</sup>、る<sup>ル</sup>)

はりひぢする (は<sup>ハ</sup>、り<sup>リ</sup>、ひ<sup>ヒ</sup>、ぢ<sup>ヂ</sup>、す<sup>ス</sup>、る<sup>ル</sup>)

はしから (は<sup>ハ</sup>、し<sup>シ</sup>、か<sup>カ</sup>、ら<sup>ラ</sup>)

はりばんをさせる (は<sup>ハ</sup>、り<sup>リ</sup>、ば<sup>バ</sup>、ん<sup>ン</sup>、を<sup>ヲ</sup>、さ<sup>セ</sup>、さ<sup>ス</sup>、る<sup>ル</sup>)

はらんだが見える (は<sup>ハ</sup>、ら<sup>ラ</sup>、ん<sup>ン</sup>、だ<sup>ダ</sup>、が<sup>ガ</sup>、見<sup>ミ</sup>、え<sup>エ</sup>、る<sup>ル</sup>)

はかねんをられる (は<sup>ハ</sup>、か<sup>カ</sup>、ね<sup>ネ</sup>、ん<sup>ン</sup>、を<sup>ヲ</sup>、ら<sup>レ</sup>、れ<sup>ル</sup>、る<sup>ル</sup>)

はさくへ (は<sup>ハ</sup>、さ<sup>サ</sup>、く<sup>ク</sup>、へ<sup>ヘ</sup>)

はや (は<sup>ハ</sup>、や<sup>ヤ</sup>)

はらんだやうすぢや (は<sup>ハ</sup>、ら<sup>ラ</sup>、ん<sup>ン</sup>、だ<sup>ダ</sup>、や<sup>ヤ</sup>、う<sup>ウ</sup>、す<sup>ス</sup>、ぢ<sup>ヂ</sup>、や<sup>ヤ</sup>)

はれへし (は<sup>ハ</sup>、れ<sup>レ</sup>、へ<sup>ヘ</sup>、し<sup>シ</sup>)

はだしぢや (は<sup>ハ</sup>、だ<sup>ダ</sup>、し<sup>シ</sup>、ぢ<sup>ヂ</sup>、や<sup>ヤ</sup>)

はりひぢのやうす (は<sup>ハ</sup>、り<sup>リ</sup>、ひ<sup>ヒ</sup>、ぢ<sup>ヂ</sup>、の<sup>ノ</sup>、や<sup>ヤ</sup>、う<sup>ウ</sup>、す<sup>ス</sup>)

●まの部

まよもまよまよへ (ま<sup>マ</sup>、よ<sup>ヨ</sup>、も<sup>モ</sup>、ま<sup>マ</sup>、よ<sup>ヨ</sup>、ま<sup>マ</sup>、よ<sup>ヨ</sup>、へ<sup>ヘ</sup>)

まびる (ま<sup>マ</sup>、び<sup>ビ</sup>、る<sup>ル</sup>)

まほひぐるめま (ま<sup>マ</sup>、ほ<sup>ホ</sup>、ひ<sup>ヒ</sup>、ぐ<sup>グ</sup>、る<sup>ル</sup>、め<sup>メ</sup>、ま<sup>マ</sup>)

まほふ (ま<sup>マ</sup>、ほ<sup>ホ</sup>、ふ<sup>フ</sup>)

またくもあらま (ま<sup>マ</sup>、た<sup>タ</sup>、く<sup>ク</sup>、も<sup>モ</sup>、あ<sup>ア</sup>、ら<sup>ラ</sup>、ま<sup>マ</sup>)



むしほんびさぬ (むしかねかよびさ)  
 むがへーさ (むがねかよびさ)  
 むくろきさきりかたけ (むくろきさきりかたけ)  
 むくろさし (むくろさし)  
 むのめしき (むのめしき)  
 むらわ (むらわ)  
 むらみあふてゐる (むらみあふてゐる)  
 むつこりおむら (むつこりおむら)  
 むつかわしらす (むつかわしらす)  
 むびじたくの目し (むびじたくの目し)

むせださぬ (むせださぬ)  
 むつかくた (むつかくた)  
 むかおの (むかおの)  
 むへひささ (むへひささ)  
 むしちか (むしちか)  
 むしちか (むしちか)  
 むしちか (むしちか)  
 むしちか (むしちか)  
 むしちか (むしちか)  
 むしちか (むしちか)

● せの 語

ほうこう (ほうこう)



ほつておく (ほつておく)  
 ほつける (ほつるゝの糸なまのこゝに用ゆ)  
 ほかの心 (またしなゝる)  
 ほうじをする (わざするの後のわざ)  
 ほうずめたま (まるまるまじら)  
 ぼつと見知る (うちけぶる)  
 ほねみよこたねる (身にしむ)  
 頬のあたり (しちつか)  
 ぼちや〜らふ (しやふ)  
 ほうぐわらふしや (はじりかきまゐるた)

ほとろよまがなれて (ちりまがて)  
 ほめそやす (しひはかす)  
 ほそい聲 (おれたる聲の小兒の聲にも用ゆ)  
 ほかのこたきよ (たご)  
 本妻よしやうよ (ほんづま) (おきりにおまふ)  
 ぼろり〜と (ぼろり〜と) 涙に用ゆるなれども、又落葉にもい  
 へるなす)  
 ほろび (ほろび)  
 ほろびちうち (ほろび)  
 ほうびきく (ほうびきく) (しんあひへん) 物語が終るた)



一四一十次

- はうける (はうけたる○はちこせり)
- はどけくさる (はちかちかひ)
- はかしたやうに見える (はちよ)
- はつたらしめる (はつたらしめる○はちかきか)
- はうが入する (はうたゝるくちる)
- はうがらす (はうがらする○は)
- ほかのことで思はぬ (ほかかきか)
- はつとらして (はつとらして○はちかきか)
- はめそやす (はちかきか)
- ぼんやりと (ぼんやり)

- ほんのりと (ほん) ○はちかき (はち)
- はこりじみて (はちかき)
- はどけのやうさ (はちかき○はちかき)
- ほかのことでさしめ (はち)
- はうくへ (はうくへ)
- ほかよかまはすよ (はち)
- ほかの物よりも (ほかかきか)
- はんしん (はんしん)
- はどちかうさし (はち)
- はうくへ (はうくへ)



























11444

1. 11444 (11444)  
 2. 11444 (11444)  
 3. 11444 (11444)  
 4. 11444 (11444)  
 5. 11444 (11444)  
 6. 11444 (11444)  
 7. 11444 (11444)  
 8. 11444 (11444)  
 9. 11444 (11444)  
 10. 11444 (11444)

1. 11444 (11444)  
 2. 11444 (11444)  
 3. 11444 (11444)  
 4. 11444 (11444)  
 5. 11444 (11444)  
 6. 11444 (11444)  
 7. 11444 (11444)  
 8. 11444 (11444)  
 9. 11444 (11444)  
 10. 11444 (11444)



海風 (1910年)

海風 (1910年)

海風 (1910年)

海風 (1910年)

海風 (1910年)

海風 (1910年)

海風 (1910年)

海風 (1910年)

海風 (1910年)

海風 (1910年)

海風 (1910年)

海風 (1910年)

● 海 風

海風 (1910年)

海風 (1910年)

海風 (1910年)

海風 (1910年)

海風 (1910年)

海風 (1910年)







1144 第十次

2111-1111 (411) 2111-1111 (411)

2111-1111 (411) (411)

2111-1111 (411) (411)

2111-1111 (411)

● 2111

2111-1111 (411)

2111-1111 (411)

2111-1111 (411) (411)

2111-1111 (411)

2111-1111 (411) (411)

2111-1111 (411) (411)

2111-1111 (411)

2111-1111 (411) (411)

2111-1111 (411)

● 2111

2111-1111 (411)

2111-1111 (411) (411)

2111-1111 (411) (411)

2111-1111 (411)

2111-1111 (411)

2111-1111 (411)



おぼろげな夢 (おぼろげなゆめ)

おぼろげな朝 (おぼろげなあさ)

おぼろげな夕 (おぼろげなゆふ)

おぼろげな月 (おぼろげなつき)

おぼろげな星 (おぼろげなほし)

● 夢 の 部

おぼろげな朝 (おぼろげなあさ)

おぼろげな夕 (おぼろげなゆふ)

おぼろげな月 (おぼろげなつき)

● 夢 の 部 (おぼろげな)

おぼろげな朝 (おぼろげなあさ)

おぼろげな夕 (おぼろげなゆふ)

おぼろげな月 (おぼろげなつき)

おぼろげな星 (おぼろげなほし)

おぼろげな朝 (おぼろげなあさ)

おぼろげな夕 (おぼろげなゆふ)

おぼろげな月 (おぼろげなつき)

おぼろげな星 (おぼろげなほし)

おぼろげな朝 (おぼろげなあさ)

おぼろげな夕 (おぼろげなゆふ)







おちぢやくぢ (おちぢやくぢ)  
 おぢしのたね (おぢしのたね)  
 おしあひてゐる (おしあひてゐる)  
 おしてかつてがわる (おしてかつてがわる)  
 おぢじくらの人 (おぢじくらの人)  
 おひやる (おひやる)  
 おもふてゐるおほりよは (おもふてゐるおほりよは)  
 おもひこむ (おもひこむ)  
 おする (おする) ○おほかた (おほかた)  
 おもひだす (おもひだす)

おまはし (おまはし)  
 おさゆる (おさゆる)  
 おちかけ (おちかけ)  
 おもひだす (おもひだす)  
 おもひやる (おもひやる)  
 おあじむ (おあじむ)  
 おあじみやう (おあじみやう)  
 おやがはする (おやがはする)  
 おもひだす (おもひだす)  
 おほごせ (おほごせ)



おんちんりん (Onchinrin)

おんちんちん (Onchinchin)

おんちん (Onchin)

おんちんちん (Onchinchin)

おんちんちん (Onchinchin)

おんちんちん (Onchinchin)

おんちんちん (Onchinchin)

おんちんちん (Onchinchin)

お

おんちんちん (Onchinchin)

おんちんちん (Onchinchin)

おんちんちん (Onchinchin)

おんちんちん (Onchinchin)

おんちんちん (Onchinchin)

おんちんちん (Onchinchin)

おんちんちん (Onchinchin)

おんちんちん (Onchinchin)

おんちんちん (Onchinchin)

おんちんちん (Onchinchin)

おんちんちん (Onchinchin)







おもひつめて (おもひつめて) 〇おもひつめて (おもひつめて)

おひだす (おひだす)

おびえぬまじさ (おびえぬまじさ) 〇おびえぬまじさ (おびえぬまじさ)

おもひまはせば (おもひまはせば)

おらてくれ (おらてくれ) 〇おらてくれ (おらてくれ)

おしおめて (おしおめて)

おしつむむむ (おしつむむむ)

おもじりみまふ (おもじりみまふ)

おもじりみまふ (おもじりみまふ) 〇おもじりみまふ (おもじりみまふ)

おとしる (おとしる) 〇おとしる (おとしる)

おもひだしむら (おもひだしむら)

おんどう (おんどう)

おもじこまねる (おもじこまねる)

おもひまじでか (おもひまじでか)

おもじりむむ (おもじりむむ)

おもひばく (おもひばく)

おしがよむ (おしがよむ)

おもひむむ (おもひむむ)

おほせつげらる (おほせつげらる)

おしむら (おしむら) 〇おしむら (おしむら)



おひらき (おひらき)

おくそく (おくそく)

おしつよう (おしつよう)

おほせがら (おほせがら)

おくひかしがら (おくひかしがら)

おくし (おくし)

おひめたる (おひめたる)

およびごし (およびごし)

おろかしら (おろかしら)

おぼしめたる (おぼしめたる)

●わ之部

わたせ (わたせ) 〇わたせ (わたせ)

わたくし (わたくし) 〇わたくし (わたくし)

わがもの (わがもの)

わが身 (わが身)

わが身つめて人のらたせ (わが身つめて人のらたせ)

わらひぐさ (わらひぐさ)

わがからだのやうにせら (わがからだのやうにせら)



わけがさす (わけがさす)

わけがさる (わけがさる)

わけがさる (わけがさる)

わけがさる (わけがさる)

わけがさる (わけがさる)

わけがさる (わけがさる)

わけがさる (わけがさる)

わけがさる (わけがさる)

わけがさる (わけがさる)

わけがさる (わけがさる)

わがちがさしよ (わがちがさしよ)

わがちがさしよ (わがちがさしよ)

わが心ばかりでたらしめよう (わが心ばかりでたらしめよう)

わが心ばかりでたらしめよう (わが心ばかりでたらしめよう)

わが心ばかりでたらしめよう (わが心ばかりでたらしめよう)

わが心ばかりでたらしめよう (わが心ばかりでたらしめよう)

わが心ばかりでたらしめよう (わが心ばかりでたらしめよう)

わが心ばかりでたらしめよう (わが心ばかりでたらしめよう)

わが心ばかりでたらしめよう (わが心ばかりでたらしめよう)

わが心ばかりでたらしめよう (わが心ばかりでたらしめよう)



わびごとする (wabi-goto suru)  
 わかれくよする (wakareku-yo suru)  
 わるしきにとりす (warushi-ki ni tori suru)  
 わるしきよらふ (warushi-ki yorau)  
 わからぬ物らひ (wakaranu mono rahi)  
 わるうきからうかゆあしなす (waru-uki kara uka-yu-ashi-nasu)  
 わがまゝにする (waga-mama ni suru)  
 わるし詩 (warushi shi)  
 わるうきらやうすげらや (waru-uki rai-ya-ou-suge-ra-ya)  
 わさくらかまゝ (wasakura-kamama)

わがものであす (waga mono de asu)  
 わらひする (warahi suru)  
 わろくあそびする (waroku asobi suru)  
 わけもしらす (wake mo shirasu)  
 わびく (wabi-ku)  
 わるす (waru su)

● かな

からだがふたしほし (karada ga futashi hoshi)  
 わる (waru)  
 からださあそびする (karada sa-awabi suru)



二四六十一

からだふぶらうあうぢ (からだふぶらうあうぢ)

かくしてはさしする (かくしてはさしする)

かほをみさばす (かほをみさばす)

からだを粉よして (からだを粉よして)

からだもあげ出して (からだもあげ出して)

からだにしゆみこも (からだにしゆみこも)

かるはづみや (かるはづみや)

かけがいのさう (かけがいのさう)

かぞへるさう (かぞへるさう)

かへへする (かへへする)

がてんがらかぬ (がてんがらかぬ)

かうめらうあもはさんだ (かうめらうあもはさんだ)

かひける (かひける)

かるはづみや (かるはづみや)

かほしゆをしる (かほしゆをしる)

かすどり (かすどり)

かへこぶる (かへこぶる)

かんがへしめて (かんがへしめて)

がてんがらく (がてんがらく)

かくちさす (かくちさす)

二四六十二



かくしおほせむへら (カクシオホセムヘラ)

かゝりあひのせら (カカリアヒノセラ)

かたの通りとする (カタノトオリトスル)

扇をきらべる (オウギヲキラベル)

かたまつてぬる (カタマツテヌル)

かわりやすらび (カワリヤスラビ)

かたみ (黒田) ○かたむねら (カタクネラ)

かきしら (カキシラ)

かぞへる (カゾヘル)

かげとらへ (カゲトラヘ)

かたいちき (カタクチキ)

かすがおほらけたら (カスガオホラケたら)

かほがわはなめて (カホガワハナメテ)

かくしてぬる (カクシテヌル)

かくしぬく (カクシヌク)

かたこもらふ (カタクモラフ)

かたいつばうへたはち (カタクツバウヘタハチ)

かわいがる (カワイガール)

かばる (カバール)

かはりようある (カハリヨウアル)



かたいつばり (かたいつばり)

かたてよ (かたてよ) ○かたてよ (かたてよ)

かたおもひ (かたおもひ)

かこつける (かこつける)

かせよする (かせよする)

かまねのうら (かまねのうら)

かほだしがあらぬ (かほだしがあらぬ)

かほどかくして (かほどかくして)

かほどかくして (かほどかくして)

かほよ火がたかれる (かほよ火がたかれる)

かつてきたほをき (かつてきたほをき)

かゝりつておる (かゝりつておる)

かたほでわらふ (かたほでわらふ)

かたごころよかゝる (かたごころよかゝる)

かくしておる (かくしておる)

かきくらする (かきくらする)

からだをさへおる (からだをさへおる)

かほかたち (かほかたち)

かたはしからなむする (かたはしからなむする)



かみよたつものなま (かみよたつものなま)

かきむける (かきむける)

かびる (かびる) ○行跡 (かきむける)

かきちがく (かきちがく)

かた (かた)

かほがまひらたぬ (かほがまひらたぬ)

かたつへら (かたつへら)

かたはられたぬ (かたはられたぬ)

かほつち (かほつち)

かたへへらぬ (かたへへらぬ)

かしたるま (かしたるま)

かこつち (かこつち)

かたつへら (かたつへら)

かくれてめて (かくれてめて)

かたねかける (かたねかける)

かぐもんのぎんみ (かぐもんのぎんみ)

かたづける (かたづける)

かつたもとせぬ (かつたもとせぬ)

かきくまひ (かきくまひ)

かじかきばね (かじかきばね)



かたくろし（かたくろし）  
かんしんさせる（かんしんさせる）  
かほがやせる（かほがやせる）  
かるくし（かるくし）  
かへつて（かへつて）  
かれど（かれど）  
かんりやくする（かんりやくする）  
かけどうし（かけどうし）  
かきかす（かきかす）  
かすらば（かすらば）

かくれが（かくれが）  
がのら（がのら）  
かみをすく（かみをすく）  
かんしやくを（かんしやくを）  
かくだん（かくだん）  
かたら（かたら）  
かくべ（かくべ）  
かたよ（かたよ）  
かたわ（かたわ）  
かきり（かきり）



かむらさき (Cinnabar) (カムラサキ)  
 かざノイサ (Cinnabar) (カザノイサ)  
 がくもん (Cinnabar) (ガクモン)  
 かしてだて (Cinnabar) (カシテダテ)  
 からだがうまゆまゆ (Cinnabar) (カラダガウマユマユ)  
 からほうする (Cinnabar) (カラほうする)  
 からだがうまゆまゆ (Cinnabar) (カラダガウマユマユ)  
 かやうべい (Cinnabar) (カヤウベイ)  
 からだもすい (Cinnabar) (カラダモスイ)  
 かびぶさ (Cinnabar) (カビブサ)

かくしてさす (Cinnabar) (カクシテサス)  
 かみそつちまはし (Cinnabar) (カミソツチマハシ)  
 からめいた (Cinnabar) (カラメイタ)  
 かぜひしのある (Cinnabar) (カゼヒシのゐる)  
 かけかまひさし (Cinnabar) (カケカマヒサシ)  
 かんじんよし (Cinnabar) (カンジンヨシ)  
 かたをぬぐ (Cinnabar) (カタをぬぐ)  
 かたをつける (Cinnabar) (カタをつける)  
 かうげよし (Cinnabar) (カウゲヨシ)  
 かわらざら (Cinnabar) (カワラザラ)



かほひぬかる (kaho-hinukaru) 用(ウ)

●よ之節

よびよやる (yobiyaru)

よりをかける (yori-okakeru) 用(ウ)

よびす (yobisu) 用(ウ)

よびこむる (yobikomu) 用(ウ)

よびよめる (yobiyomeru)

よびよす (yobiyosu) 用(ウ)

よびよし (yobiyoshi) 用(ウ)

よびよひ (yobiyohi) 用(ウ)

よける (yokeru) 用(ウ)

よろひする方 (yorohisuru) 用(ウ)

よこたわつてゐる (yokotawatteiru) 用(ウ)

よびこんで (yobikonde) 用(ウ)

よびけれぬ (yobikerenu) 用(ウ)

よこたをしる (yokotashiru) 用(ウ)

よみがへる (yomigaeru) 用(ウ)

よんごころあへ (yongokoroahe) 用(ウ)

よんごころあへ (yongokoroahe) 用(ウ)

よんごころあへ (yongokoroahe) 用(ウ)



よがすゝまきつて (YOGASU) (E)

よいひやうばん (YOHYOHUBAN) (整理あり)

よこがほ (YOKAGHO) (E)

よのあかのあらし (YONAKO) (E)

よるよあつて (YORUYOTSU) (E)

よわくどした (YOWAKUDOSHITA) (E)

よつばあ (YOTSUBAA) (E) OMASAS (かたはなる)

よすはちで (YOSUHACHIDE) (E)

よすあらの (YOSUARANO) (E)

よくくおもひかへして見れば (YOKUKUOMOHICHAESHITEMIREBA) (大かた)

よすすじやう (YOSUSUJIYOU) (かんごまき)

よすこのあさ (YOSUKONOASA) (E)

よれくどした (YOREKUDOSHITA) (E)

よすのあま (YOSUNOAMA) (E)

よごれた (YOGORETA) (E)

よびあする (YOBIASURU) (E)

よびあす (YOBIASU) (E)

よあねぬ (YOAENE) (E)

よし (YOSHI) (E)

よし (YOSHI) OMASAS (E)



よし／＼とくらば (yosiyosiyaba)

よまや (yomaya)

よまやかし (yomayakashi)

よこむきの (yokomuki no)

よままたとあさ (yomamata to asa)

よへあさ (yohiasa)

よし／＼とくらば (yosiyosiyaba)

よさあか (yosayaka)

ようたんばよあし (youtanba yoashi)

よりあつまる (yoriatsu maru)

よくふかくおもふ (yokufukaku omou)

よろ／＼とした (yoriyori shitata)

よしかげんあみあし (yoshikagen amiashi)

よしあつめて (yoshiatsu mette)

よさあつあし (yosayatsu ashi)

● た之部

たびごま (tabigoma)

たづねる (tazuneru)

たてまる (tatemaru) ○たはむる (tahamaru)

たわ／＼と (tawayayashi)











たびしにさる (たひし)   
 たかるとさる (たかるとさる)   
 たいじよかける (いたはる〇うへ〇うらひん)   
 だれがまゐ (たれしあゐ)   
 たつた (たつ) ○だれかれ (たつた〇たつた)   
 たらぬあさうがさ (たつた〇たつた)   
 たつせやまかへ (たつた)   
 たまらねる (たつた〇たつた)   
 たましよ (たつた)   
 たそれかゝつて (たつた)   
 たどへがたあう (たつた)

たしよとせる (たしよとせる)   
 たあ (たあ)   
 たどひ (たどひ) ○たつしやあ人 (たつしやあ人)   
 たいがいよ (たいがいよ)   
 だめをおす (だめをおす)   
 たのみにあらぬやうす (たのみにあらぬやうす)   
 たいがい (たいがい)   
 たかつてゐる (たかつてゐる)   
 たいひつ (たいひつ)



たつしやぢ (たつしやぢのカタカナ)

たらしめて (たらしめてのカタカナ)

たるむ (たると)

たてものよする (たてものよする)

たしあみぶから (たしあみぶからのカタカナ)

たてわかつて (たてわかつてのカタカナ)

たのみずくさうひ (たのみずくさうひ)

たしまつ (たしまつのカタカナ)

たしがらよしておぼえて (たしがらよしておぼえて)

だらり (だらりのカタカナ)

● た之部

たさく (たさくのカタカナ)

たさ (たさのカタカナ)

たつさとした (たつさとした)

たよする (たよする)

たいがわる (たいがわる)

たつをたて (たつをたて)

たをいふ (たをいふ)

● そ之部

そのほうがおほ (そのほうがおほ)



それそうかうよ (おふな〜〇難分かんちゅうが如し)  
 そくである (じふにぢふに〇〇は谷なぢ)  
 そうではあるまら (おふじ)  
 そだてあびる (おほしたじる〇なやせはん)  
 そぶ〜とじつ (いぢおふぢ) 〇んぢ (いぢおふぢ)  
 そしらぬかほ (しらぬ〇〇れおふぢ)  
 そゝつかしら (ほしたぢ〇おした)  
 そうであら (おふぢ) 〇んぢり (たぢぢぢぢ)  
 そつとくる (はむわたる〇やあらわたあ)  
 そはものをたのしんで (ほむらたじおふぢ)

それ〜の (み〜につけたる)  
 そつものぢく (いぢおふぢ)  
 そば (いぢおふぢ) 〇んぢばかりな (いぢおふぢ)  
 そつぢ (みぢらに〇おふぢおふぢ)  
 そのつらぢよ (おふぢおふぢ)  
 そんじよらす (おふぢおふぢ〇おふぢおふぢ)  
 それ〜よしあける (おふぢ)  
 そばよむたら (なぢら〜)  
 それよする (おふぢ〇おふぢ〇おふぢ〇おふぢ)  
 そろひまひた (おふぢ)



そえんな (そうきょうすくなる)

そふてゐる (ちび〇男女のちまへに居るぶら)

それはそれよしてあらず (ちまへ)

そのかわりよ (しろうた〇舞のなまむしからてははひやぶあからぶら  
り)

そばよあまたら (そばいり)

そこねる (ちまへ〇あたらふちの舞がら)

そえんよする (うとむ) ○そこたゝく (うとむ〇  
ん)

そゝのかす (そゝのり)

そろりともげる (そゝともげる〇耳障りあはる)

そわくしとした (そゝろく)

そわくする (そゝめ〇あたらふち)

そわつく (そわく〇あたらふち)

そでのちかたより (舞へなむ)

そひあたまひひる (しりた)

そひひるひひる (しりた)

そひん (あたらふち)

そひんあたらふち (あたらふち)

そひんあたらふち (あたらふち)



そのやうな事 (その)    Onu nusu (その事)  
 それく (それく)    Onu raku no koto (その事)  
 そうばかり (その事)    Onu ni hodo mo aru (その事)  
 そればかり (その事)    Onu ni hodo mo aru (その事)  
 それはさう知らぬ事ばかり (その事)  
 そばそばあつた (そばそばあつた)  
 それでも (それでも)  
 それこそは (その事)    Onu no koto (その事)  
 そうあらば (その事)    Onu (その事)  
 そばからさふ (そばからさふ)

そむかずよ (そむかずよ)  
 そらさふの (そらさふの)  
 そこそよ (その事)    Onu no koto (その事)  
 そのさふさふ (その事)    Onu (その事)  
 そらそばけする (そらそばけする)  
 そのまゝで (そのまゝで)  
 そうしてあつたら (その事)  
 そして (その事)  
 そうして見たらば (その事)  
 それがしも (その事)



ॐ नमो भगवते वासुदेवाय (१०८५)  
 ॐ नमो भगवते वासुदेवाय (१०८६)  
 ॐ नमो भगवते वासुदेवाय (१०८७)  
 ॐ नमो भगवते वासुदेवाय (१०८८)  
 ॐ नमो भगवते वासुदेवाय (१०८९)  
 ॐ नमो भगवते वासुदेवाय (१०९०)  
 ॐ नमो भगवते वासुदेवाय (१०९१)  
 ॐ नमो भगवते वासुदेवाय (१०९२)  
 ॐ नमो भगवते वासुदेवाय (१०९३)  
 ॐ नमो भगवते वासुदेवाय (१०९४)  
 ॐ नमो भगवते वासुदेवाय (१०९५)  
 ॐ नमो भगवते वासुदेवाय (१०९६)  
 ॐ नमो भगवते वासुदेवाय (१०९७)  
 ॐ नमो भगवते वासुदेवाय (१०९८)  
 ॐ नमो भगवते वासुदेवाय (१०९९)



そねぞきしよ (sonozaki) ○んぞ (onzo) (3)

そらぢや〜 (sorajiya) (4)

それよりうらめよ (soreyoriurameyo) (5)

そらあうき (soraauki) (6)

そばよおからぞり (sobayooakarazori) (7)

それ〜のしびけ (sorenohibike) (8)

それりそれよして (soreri sereyosite) (9)

そこをこころおさす (sokowokokorosasu) (10)

そらあらぶとさかへす (soraarabutosakaesu) (11)

そらづからのこぞも (soraizukarano) 常<sup>た</sup>尋<sup>ま</sup>人に用<sup>もち</sup>ぬ

見す) ○そね〜 (sonozaki) (12)

そねじ (sonoji) ○んぞか (sonozaka) (13)

それ〜よわかる (soreyoyowakar) (14)

そらりあるさあ (sorariru) (15)

そらりら (sorarira) (16)

そらあくとかあわぬ (soraakutokawanu) (17)

そらる (soraruru) (18)

そばよばかりむつけて (sobayoyobakarimutsukete) (19)

そこもどちは (sokomodochi) (20)

そらうしてあきらよ (soraushiteakirayo) (21)



そのうきふらうよませよ (その)

そのさちがけて (そのはく)

そのきもく (その)

その人あらばおもとて (その)

そのきみがわる (その)

それよりほかで (その)

● の 部

のしむぶから (そのさくら)

のしむ (その)

のまらむつて (そのりて多くの人の押合ひてゐることを云)

の

のこみよ (そのおま)

のむ (その)

のらだしがきらぬ (その)

のぶくがき (はなまの小児の物を書くに用)

のきの (にのまの次といふことなり)

のきあてが (その)

のようやわらかう (その)

のきあて (その)

用 (その)







うまやかま (uma-yakama)  
 つかえがおこる (tsukae-gokoru) 〇 腫瘍が起る  
 づつかりぞ (tsutsukarizō)  
 づらざり (tsurazari) 〇 髪がむしり抜ける  
 づくらひけがあら (tsukurahikēgara) 〇 髪が抜け落ちる  
 づねのやうす (tsuneyōsu) 〇 竹の葉の如き  
 づしめす (tsushimesu)  
 づまりは (tsumariha) 〇 結核  
 づまりよりおぼゆるま (tsumariyori oboyuru ma) 〇 結核に似る  
 づまはす (tsumahasu) 〇 結核

づたりなるとす (tsutarinarusu)  
 づかうのわる (tsukau no waru) 〇 結核の悪  
 づくらひけがら (tsukurahikēgara) 〇 髪が抜け落ちる  
 づかへ (tsukae) 〇 結核  
 づらざり (tsurazari) 〇 髪がむしり抜ける  
 づらよひ (tsurayoi) 〇 結核  
 づやそもたす (tsuyasomotasu) 〇 結核が起る  
 づまくらひる (tsumakurahiru) 〇 結核に似る  
 づまの (tsuma no) 〇 結核  
 づまの (tsuma no) 〇 結核







● ぬ 之 部

ぬおきのあり (ぬぐたれのうたが)  
 ぬどぼけて (ぬびれたのわなびたし)  
 ぬぬけのせぬ (せぼる中の)  
 ぬてるるあひだよ (ぬるぢうぢに)  
 ぬるよもおきろよも (せんからぬをせ)  
 ぬらりこじ (ぬる)  
 ぬから (いまだにむげにまたなまへ)  
 ぬからみぬ (みるめなま)  
 ぬころぶ (ぬす)

ぬもどがくちつてさく (ぬもんだまゆへ)  
 ぬられぬ (ぬられぬのをぬられぬ)  
 ぬさせる (しつむる) (入なしつめての味あり)  
 ぬぬけのした (もぼるげまらぬ)  
 ぬんいれて (いぢめてい)  
 ぬたがる (いぎたなし)  
 ぬおきのかほつき (ぬびれたるかほ)  
 ぬおきのかみつぎ (ぬみだれがみぬぐたれがみ)  
 ぬたむ (そねむ)  
 ぬむたらしめもふらふくらむ (ぬむたらしめ)



ねてもなめても (いひるゝなめても)

ねやうとおもふけんども (ねやうとおもふ)

ねんがける (こゝろにたかへる)

ねんがねんぢう (ねんがねんぢう)

ねほりはほり (あはれほり)

ねこびたい (ひたはちぢぢぢぢぢ)

● 赤之部

赤よくはぬかほする (あしよくはぬかほする)

赤んぶとらふも (あしんぶとらふも)

赤ら〜 (あしら〜)

赤んのかのともらふと (あしんのかのともらふと)

赤みだぐむ (あしみだぐむ)

赤んぢとらふ (あしんぢとらふ)

赤らもぢうぢん (あしらもぢうぢん)

赤らしやうをとしる (あしらしやうをとしる)

赤ふでもらひち (あしふでもらひち)

赤んよもせずよ (あしんよもせずよ)

赤んねんも〜 (あしんねんも〜)

赤びやつとなく (あしびやつとなく)



指り出す (さしだす)

指みよる (さしよる)

指んでおますね (さしでますね)

指うでのおぼろさ (さしうでの)

指がる (さしがる)

指んよさぬお指し (さしんよさぬおさし)

指し (さし)

指しおへんか (さしおへんか)

指んよす (さしんよす)

指がさる (さがる)

指がさる (さがる)

指んよ (さし)

指んよ (さし)

指さる (ささる)

指がさる (さがる)

指りかばる (さがる)

指がさる (さがる)

指まひさる (さまひさる)

指がさる (さがる)

指しおへん (さしおへん)



あらびたつてある (あらたてる)

あかう (あうかう)

あかのよら (あらかうあうあうあうあう)

あかよくはあしめる (あうあう)

あかひあがる (あうあう)

あかひあうあうあうあうあうあう (あうあうあうあう)

あんのかのどなたする (あうあうあう)

あまもかもやめよして (あうあうあうあう)

あでたりたゝいたり (あうあうあうあう)

あんののはしよは (あうあうあうあうあうあう)

あまぬるあうあう (あうあうあうあうあう)

あんのあう (あうあうあうあうあう)

あかひあう (あうあうあう)

あかよくする (あうあうあうあう)

あがみじかあしよ (あうあう)

あがらあひだ (あうあうあう)

あかうあゆん (あうあうあう)

あかじあ (あうあうあう)

あんづんあう (あうあうあうあうあうあうあう)

あうあうあうあうあうあうあう



きんぐんも鳴く (kin-ku-ni mo naru) 鳴くは金鼓の音なり  
 きからはんじやくき (ki-hi-taru o ki ni yori) 鳴くは金鼓の音なり  
 きざる (おいたる音あり)  
 きぶりのものもある (ki-buri no mono) 鳴くは金鼓の音なり  
 きんぐひもすぢありなり (kin-ku-hi mo suji ari nari) 鳴くは金鼓の音なり  
 きんぐひもすぢありなり (kin-ku-hi mo suji ari nari) 鳴くは金鼓の音なり  
 きりよーしことぢやの (ki-ri-yo-shi koto-ji ya no) 鳴くは金鼓の音なり  
 きんどもすしかほで (kin-domo su shi ka ho de) 鳴くは金鼓の音なり  
 きまじりお人 (なれもの) (ki-majiri o hito) 鳴くは金鼓の音なり  
 きまおぼえごのきんぐ (ki-ma o boe go no kin-ku) 鳴くは金鼓の音なり

きんぐも (kin-ku mo) 鳴くは金鼓の音なり  
 きんぐも (kin-ku mo) 鳴くは金鼓の音なり  
 きんぐも (kin-ku mo) 鳴くは金鼓の音なり  
 きんぐも (kin-ku mo) 鳴くは金鼓の音なり  
 きんぐも (kin-ku mo) 鳴くは金鼓の音なり  
 きんぐも (kin-ku mo) 鳴くは金鼓の音なり  
 きんぐも (kin-ku mo) 鳴くは金鼓の音なり  
 きんぐも (kin-ku mo) 鳴くは金鼓の音なり  
 きんぐも (kin-ku mo) 鳴くは金鼓の音なり  
 きんぐも (kin-ku mo) 鳴くは金鼓の音なり



あまのあつたま (あまの)

あまのあつたま (あまのあつたま)

あまのあつたま (あまの)

あまのあつたま (あまの)

あまのあつたま (あまのあつたま)

あまのあつたま (あまの)

あまのあつたま (あまのあつたま)

あまのあつたま (あまの)

あまのあつたま (あまのあつたま)

あまのあつたま (あまのあつたま)

あまのあつたま (あまのあつたま)

あまのあつたま (あまのあつたま)

あまのあつたま (あまのあつたま) ○あまのあつたま (あまのあつたま)

あまのあつたま (あまのあつたま)

あまのあつたま (あまのあつたま)

あまのあつたま (あまのあつたま)

あまのあつたま (あまのあつたま)

あまのあつたま (あまのあつたま)

あまのあつたま (あまのあつたま)

あまのあつたま (あまのあつたま)



きんごじやう (S. 42 中ノ)  
 きんぢやぞいの (きんぢや)  
 きんともいねぬ (きんぢ)  
 きんねんもく (よきんて)  
 きんとまわせうぞ (いさむせん)  
 きよがきしにやぢ (きん)  
 きんだからふてごらん (きんぢは)  
 きよしよすめ (かたごらめ)  
 きせうらの (きせうら)  
 きよなせうやう (きんや)

きんぼうでも (きん)  
 きよのためよ (きよきんごらめ)  
 きんぐんも (きんぐん)  
 きんぼうぢやぢやぢや (きん)  
 きんの (きんごらめ)  
 きんごらのぢやぢ (きん)  
 きんぎして (きんぎんて)  
 きんくしう (きんぎんて)  
 きんしやう (きんぎんて)  
 きよかやめて (きん)



赤んこの赤しよ (にんご)

赤んものつけられぬ (にんものつけられぬ)

赤かのよら (みづかき)

赤にかよえんりよぶから (あかにかよえんりよぶから)

赤まじら赤 (あかまじら)

赤めたかほつさ (あかめたかほつさ)

赤だめて (あかだめて)

赤かたるみ (あかかたるみ)

赤よし赤かよもかゝらぬ (あかよしあかかよもかゝらぬ)

赤らしやうぶ赤の赤 (あかしやうぶあかのあか)

赤る (あかる) ○赤ら赤しよ (あかり)

赤んぎをせる (あかぎをせる)

赤りふり (あかりふり)

赤るほだそうぢや (あかるほだそうぢや)

赤るたけは (あかるたけは)

● 赤之部

赤らがあかぬ (あからがあかぬ)

赤く赤 (あか)

赤ら赤ら (あかりあかり)

赤ら赤ら赤ら赤ら赤ら (あかりあかりあかりあかりあかり)



ちくちく (ちくちく)

ちくちく (ちくちく)

ちくちく (ちくちく)

ちくちく (ちくちく)

ちくちく (ちくちく)

● ちくちく

ちくちく (ちくちく)

ちくちく (ちくちく)

ちくちく (ちくちく)

ちくちく (ちくちく)

ちくちく (ちくちく) ○ちくちく

ちくちく (ちくちく)

ちくちく (ちくちく)

ちくちく (ちくちく)

ちくちく (ちくちく)

ちくちく (ちくちく)

ちくちく (ちくちく)

ちくちく (ちくちく)

ちくちく (ちくちく)

ちくちく (ちくちく)







むとるま (むとるま)

むちちりちち (むちちり)

むだま (むだま)

むだまぬる (むだまぬる)

むりやりま (むりやりま)

むるらま (むるらま)

むぞん (むぞんは無算あり)

むりむたらま (むりむたらま)

むかしむらま (むかしむらま)

● う の 部

うむちま (うむちま)

うかへ (うかへ)

うつすりとたつ (うつすりとたつ)

うまなひ (うまなひ)

うまへ (うまへ)

うまぢひ (うまぢひ)

うりてかきる (うりてかきる)

うしひんする (うしひんする)

うたひく (うたひく)

うたひく (うたひく)



うしむる (ushimuru) (受ける)

うらみぬく (uraminuku) (うらみをぬく)

うらふたしげむ (urafutashigemu) (うらむ)

うやむぎ (uyamugi) (うやむぎ)

うそまじらし (usomajirashi) (うそまじらし)

うすし出る (usushidaru) (うすし出る)

うはく (uhaku) (うはく)

うすがまふ (usugamau) (うすがまふ)

うしろむらてみる (ushinomuratemaru) (うしろむらてみる)

うまのむかふ (umano mukau) (うまのむかふ)

うらまふ (uramau) (うらまふ)

うらむ (uramu) (うらむ)

うまね (umane) (うまね)

うつたんのしかたがあら (uttan no shikata ga aru) (うつたんのしかたがあら)

うむち (umuchi) (うむち)

うつどりして居る (uttdori shite iru) (うつどりして居る)

うれし (ureshi) (うれし)

うらむがる (uramugaru) (うらむがる)

うらむかふる (uramukau) (うらむかふる)



ラはかば (ラノハカバ)

ラはかば (ラノハカバ)

ラはかば (ラノハカバ)

ラはかば (ラノハカバ)

ラはかば (ラノハカバ)

ラはかば (ラノハカバ)

ラはかば (ラノハカバ)

ラはかば (ラノハカバ)

ラはかば (ラノハカバ)

ラはかば (ラノハカバ)

ラはかば (ラノハカバ)

ラはかば (ラノハカバ)

ラはかば (ラノハカバ)

ラはかば (ラノハカバ)

ラはかば (ラノハカバ)

ラはかば (ラノハカバ)

ラはかば (ラノハカバ)

ラはかば (ラノハカバ)







うごく／＼あはる (おんあはるの<sup>こころ</sup>あはる<sup>たふ</sup>る<sup>なり</sup>)

うめる (うむる)

● の 之 部

のけものよしとせへ (けもの)

のころま (のころま)

のみこみつけてみる (のみこみ)

のころかたもあへ (のころかた)

のぞき (のぞく)

のんせり (のんせり)

のびしてせへ (のびしてせへ)

のろろやうま (のろろやうま)

のろ (のろ)

のついで (のついで)

のせられる (のせられる)

のころまそのとほり (のころまそのとほり)

のりちがえる (のりちがえる)

のりこま (のりこま)

のつしり (のつしり)

のけたうおもひ (のけたうおもひ)

のちづれのま (のちづれのま)



のんちがたす (んちがた)

のく (んく)

のちしよ (ちしよのちしよ)

● く 之 部

くわんまう (くわんまう)

くつたくしよあひ (くつたくしよあひ)

くればあまする (くればあまする)

くしやあする (くしやあする)

くひらなま (くひらなま)

くすたる (くすたる)

くすたる (くすたる)

くわらな (くわらな)

くつたくする (くつたくする)

くちあがた (くちあがた)

くちあがた (くちあがた)

くちあがた (くちあがた)

くちあがた (くちあがた)

くちあがた (くちあがた)

くつたくしてくたびたる (くつたくしてくたびたる)

くつたくしよ (くつたくしよ)







くわらけん (kwaraken)

くまや〜 (kumaya ~)

くわらちゆう (kwarachiu)

くつたくがやむ (kutsutakugayamu)

くぢ〜 (kuchi ~)

くたびねる (kutabineru)

くぢ〜 (kuchi ~)

くはえる (kuhaeru)

くろ〜 (kuro ~)

くぢ〜 (kuchi ~)

くわらま (kwarama)

くぢ〜 (kuchi ~)

くぢ〜 (kuchi ~)

くぢ〜 (kuchi ~)

くぢ〜 (kuchi ~)

くぢ〜 (kuchi ~)

くぢ〜 (kuchi ~)

くぢ〜 (kuchi ~)

くぢ〜 (kuchi ~)

くぢ〜 (kuchi ~)







やめよしらねぬ (yameyo shirane nu)

やみつく (yami tsuku)

やせる (yaseru)

やくみつく (yaku tsukuru)

やかましらす (yakamashirasu)

やかまじら (yakamajira)

やくとくする (yaku toku suru)

やもちがふる (yamochi ga furu)

やう〜も (yau mo)

やまよた (yamayota)

やめてしまはれたぬ (yamete shimahareta nu)

やせぼろし (yaseboroshi)

やれのう (yare no u)

やぶつてすてゐる (yabutte suteru)

やすむ (yasumu)

やせぼろしよび (yaseboroshi yobi)

やまからのみやげ (yama kara no miyage)

やつぱり (yatsubari)

やうすがらがひて (yousugara ga hite)

やくよもたノすよ (yakyu yomota no suyo)







三四五十一

まひるまひりて (たまらなく<sup>○</sup>なまらる<sup>○</sup>て)  
 ましへし<sup>へ</sup>してひる (まじへ<sup>○</sup>たひる<sup>○</sup>)  
 まへかたも (まへ<sup>へ</sup>も)  
 ましちちち (まじ<sup>○</sup>)  
 ましちかり (まじ<sup>○</sup>か<sup>○</sup>り<sup>○</sup>)  
 まひかせ (吹ま<sup>く</sup>風<sup>○</sup>ら<sup>り</sup>ま<sup>み</sup>する<sup>風</sup>)  
 ませこせよせり<sup>て</sup>む (ま<sup>じ</sup>る<sup>○</sup>ま<sup>じ</sup>る<sup>○</sup>)  
 まんあか (ま<sup>ま</sup>あ<sup>か</sup>)  
 まらまらまらばん (朝<sup>な</sup>ま<sup>る</sup><sup>○</sup>ま<sup>る</sup><sup>○</sup>ま<sup>る</sup><sup>○</sup>)  
 まねする (ま<sup>ね</sup>ぶ<sup>○</sup>ま<sup>ね</sup>)

まつまぐさ (ま<sup>つ</sup>ま<sup>る</sup><sup>○</sup>ま<sup>つ</sup>ま<sup>る</sup><sup>○</sup>ま<sup>つ</sup>ま<sup>る</sup><sup>○</sup>)  
 またぐのみ (ま<sup>つ</sup>み)  
 まんぞくま (ま<sup>ん</sup>ぞ<sup>く</sup>ま)  
 まけずおどらま (ま<sup>け</sup>ず<sup>○</sup>お<sup>ど</sup>ら<sup>ま</sup>)  
 まかあさば (ま<sup>か</sup>あ<sup>さ</sup>ば)  
 まんろくよあさ (ま<sup>ん</sup>ろ<sup>く</sup>よ<sup>あ</sup>さ)  
 ましやうめんあ (ま<sup>し</sup>や<sup>う</sup>め<sup>ん</sup>あ)  
 まりば (ま<sup>り</sup>ば<sup>○</sup>ま<sup>り</sup>ば<sup>○</sup>ま<sup>り</sup>ば<sup>○</sup>)  
 まがりあか (ま<sup>が</sup>り<sup>あ</sup>か)  
 まるく<sup>と</sup>とこえて (ま<sup>る</sup>く<sup>と</sup>と<sup>こ</sup>え<sup>て</sup>)



まごめごめちまよ (まごめごめちまよ)

まぜらかす (まぜらかす)

まへから (まへから)

まけせらす (まけせらす)

まをせしめ (まをせしめ)

まつせ (まつせ)

またいさ (またいさ)

まつてぬるかきんづのやうよ (まつてぬるかきんづのやうよ)

まける (まける)

まひか入す (まひか入す)

まる (まる)

まんろくき (まんろくき)

まらちめ (まらちめ)

まはらみちまら (まはらみちまら)

まるく (まるく)

まがらあしよ (まがらあしよ)

まをれてしねぬ (まをれてしねぬ)

まだか (まだか)

まさ (まさ)

まへびろよ (まへびろよ)



まんぢらま (うじたぐり)

またしても (まますねは)

またべつたんよ (またおんね)

またつよ (まいるとく)

まぶた (まぶた)

まくらがみよ (まぐらの上)

まことよせぬ (まこと)

まんろくよらかる (まんろく)

まちたきぬ (まちたきぬ)

まじすくよ (まじすくよ)

まぢらま (まぢらま)

またしても (またしても)

またべつたんよ (またべつたんよ)

またつよ (またつよ)

まぶた (まぶた)

まくらがみよ (まくらがみよ)

まことよせぬ (まこと)

まんろくよらかる (まんろく)

まちたきぬ (まちたきぬ)

まじすくよ (まじすくよ)



まあぢへ (マアヂ)   
 まくびりなる (マクビリナ)   
 まあし (マアシ)   
 またはかよ (マタハカヨ)   
 またとあし (マタトアシ)   
 まけたくはたし (マケタクハタシ)   
 まけぬ氣 (マケヌキ)   
 まあとし (マアトシ)   
 まんざらよ (マンザラヨ)   
 またしても (マタシテモ)

まかれてあし (マカレテアシ)   
 まけあし (マケアシ)   
 まがしあぢへ (マガシアヂヘ)   
 まんがちに (マンガチニ)

● ぢ 之 部

ぢらよ (ヂラヨ)   
 ぢしからあぢ (ヂシカラアヂ)   
 ぢひんぢ (ヂヒンヂ)   
 ぢんぢ (ヂンヂ)   
 ぢんぢ (ヂンヂ)



けがれてくる (けがぶた)  
 けしかける (むかひ火つくる)  
 けうがる (けうかじか)  
 けらびく (けらびく)  
 けんどうよ (けんどう)  
 けんぶつ (けんぶつ)  
 けうのさめた (けうのさめた)  
 けらこぞ (けらこぞ)  
 げびたかほつた (げびたかほつた)  
 げびたやうす (げびたやうす)

けらめむする (けらめむする)  
 けらぶ (けらぶ)  
 けしからぬ (けしからぬ)  
 けんじやうじやう (けんじやうじやう)  
 けがよむ (けがよむ)  
 げびんよしやする (げびんよしやする)  
 けだから (けだから)  
 けんそぶ (けんそぶ)  
 けりぢらす (けりぢらす)  
 けらん (けらん)



- ちりく (ちりく)
- けつじ (けつじ)
- けびたこ (けびたこ)
- けひん (けひん)
- けち (けち)
- けんが (けんが)
- けれ (けれ)
- けん (けん)
- けん (けん)
- けん (けん)

● 之 部

- けん (けん)
- けん (けん)
- けん (けん)
- けん (けん)
- けん (けん)
- けん (けん)
- けん (けん)
- けん (けん)
- けん (けん)
- けん (けん)



ふだんよ (ふだんよ)

ふみちやへへる (ふみちやへへる)

ふへぬれくすくぬ (ふへぬれくすくぬ)

ふのやう (ふのやう)

ふたやうよ (ふたやうよ)

ふりおかせぬ (ふりおかせぬ)

ふたよある (ふたよある)

ふたつはさつせぬ (ふたつはさつせぬ)

ふとめられる (ふとめられる)

ふさたをす (ふさたをす)

ふたよする (ふたよする)

ふだんたしせつぬぬ (ふだんたしせつぬぬ)

ふしをうたれる (ふしをうたれる)

ふんだつて (ふんだつて)

ふうせつ (ふうせつ)

ふつがふ (ふつがふ)

ふとくさふ (ふとくさふ)

ふんじつする (ふんじつする)

ふぐもひあ (ふぐもひあ)

ふぐめんあ (ふぐめんあ)



ぶだんのこむねあひし (ぶだんこむねあひ)

ぶら〜をぬる (ぶらぬる)

ぶらぶらし (ぶらぶらし)

ぶしあか (ぶしあか) (あか)

ぶそくあ (ぶそくあ)

ぶしんする (ぶしんする) (あ)

ぶさぐ (ぶさぐ) (あ)

ぶみまよ (ぶみまよ) (あ)

ぶんでみる (ぶんでみる) (あ)

ぶ〜まろぶ (ぶ〜まろぶ) (あ)

ぶさがる (ぶさがる)

ぶたまたま (ぶたまたま)

ぶたとほりに (ぶたとほりに)

ぶだんよりも (ぶだんよりも)

ぶしんせつあ (ぶしんせつあ)

ぶけらあ (ぶけらあ)

ぶたつあ (ぶたつあ)

ぶらぶ (ぶらぶ)

ぶらつかす (ぶらつかす)

ぶらぶ (ぶらぶ) (あ)







へつてくる (つてくる) (つてくる)  
 へつてくる (つてくる) (つてくる)  
 へつてくる (つてくる) (つてくる)  
 へつてくる (つてくる) (つてくる)  
 へつてくる (つてくる) (つてくる)  
 へつてくる (つてくる) (つてくる)  
 へつてくる (つてくる) (つてくる)  
 へつてくる (つてくる) (つてくる)  
 へつてくる (つてくる) (つてくる)  
 へつてくる (つてくる) (つてくる)

へつてくる (つてくる) (つてくる)  
 へつてくる (つてくる) (つてくる)  
 へつてくる (つてくる) (つてくる)  
 へつてくる (つてくる) (つてくる)  
 へつてくる (つてくる) (つてくる)  
 へつてくる (つてくる) (つてくる)  
 へつてくる (つてくる) (つてくる)  
 へつてくる (つてくる) (つてくる)  
 へつてくる (つてくる) (つてくる)  
 へつてくる (つてくる) (つてくる)  
 へつてくる (つてくる) (つてくる)



ふしやうへい (ふしやうへい)

ふだんのことば (ふだんのことば)

ぶてうほうき (ぶてうほうき)

ぶりかへつてみる (ぶりかへつてみる)

●こな部

こころから (こころから)

こなれ (こなれ)

こなれ (こなれ)

こな (こな)

こな (こな)

これはこれそれば (これはこれそれば)

こころ (こころ)

こなれ (こなれ)

こな (こな)

こころ (こころ)

こな (こな)

こな (こな)

こな (こな)

こな (こな)

こな (こな)



ことばをひらきあはせしむる (ことばをひらきあはせしむる) (445)  
 こころをたたく (こころをたたく) (446)  
 こころをくわく (こころをくわく) (447)  
 こころをかける (こころをかける) (448)  
 こころえちがひ (こころえちがひ) (449)  
 ことばをつがふ (ことばをつがふ) (450)  
 こころよしゆみこむ (こころよしゆみこむ) (451)  
 こころつける (こころつける) (452)  
 こころをばさしめる (こころをばさしめる) (453)  
 こころをすう (こころをすう) (454)

こころをばさる (こころをばさる) (455)  
 こころをよめる (こころをよめる) (456)  
 こころをて (こころをて) (457)  
 こころをもち (こころをもち) (458)  
 こころをよ (こころをよ) (459)  
 こころをかへしめる (こころをかへしめる) (460)  
 こころをばさるぬ (こころをばさるぬ) (461)  
 こころばさる (こころばさる) (462)  
 こころもち (こころもち) (463)  
 こころぬ (こころぬ) (464)



こんじやう (コンジヤウ)

こくつがし (コクツガシ) (入るがなまらぬ。出るがなまらぬ。出入り)

こころがよき (ココロガヨキ) (いい心だ)

こころざうちめなる (ココロザウチメナリ) (心算)

こぐち (コグチ) (入口)

こげる (コゲル) (焼ける)

こころじこりがあふ (ココロジコリガアフ) (心算へ出る所)

こころざしづめる (ココロザシヅメル) (心算)

こまがたこひつ (コマガタコヒツ) (コマ)

こぢぢのけう (コヂヂノケウ) (小ぢぢ)

こぞあつちやう (コゾアツチヤウ) (コソアツチヤウ)

こころほむよさかぬ (ココロホムヨサカヌ) (心算)

こまわりさふ (コマワリサフ) (コマ)

こらふまねられぬ (コラフマネラレヌ) (心算)

こころよまひつしりともたぬ (ココロヨマヒツシリトモタヌ) (心算)

代(か)り(か)へ(る)

こぬばこんで (コヌバコンデ) (心算)

こころえちがひして (ココロエチガヒシテ) (心算)

こゑをあげる (コゑをアゲル) (聲たつる。口になつる)

こりぬいた (コリヌイタ) (心算)



ンシクモへスルンシクモ (Amorchi)  
 ンサモ (Amorchi)  
 ンシビヤラノモス (Amorchi, Amorchi)  
 ンサへシカカチシ (Amorchi)  
 ンノガノリガモス (Amorchi, Amorchi)  
 ンノモヤス (Amorchi)  
 ンノモヤサレぬ (Amorchi)  
 ンノモヤサレぬ (Amorchi)  
 ンシクシシ (Amorchi)

ンサ (Amorchi)  
 ンシシ (Amorchi)  
 ンサガ (Amorchi)  
 ンシシ (Amorchi)  
 ンシシ (Amorchi)  
 ンシシ (Amorchi)  
 ンシシ (Amorchi)  
 ンシシ (Amorchi)  
 ンシシ (Amorchi)  
 ンシシ (Amorchi)







このまほりのこもぢをばなす (かぢぢ)  
 これかそねをむらう (こぢぢなむらう)  
 これくらむ (こぢぢぢぢぢぢぢ)  
 こぢぢぢぢぢぢぢ (かぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ)  
 ころらこもをこらへむ (かぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ)  
 こゝろのこりぢ (かぢぢぢぢ)  
 こゝろをくだく (かぢぢぢぢ)  
 きたくも (かぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ)  
 これほぢ (かぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ)  
 これほぢたんぢぢ (かぢぢぢぢぢぢぢ)

こゝろをこぢぢ (かぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ)  
 このやうも (かぢぢ)  
 こらしてこれぢぢぢ (かぢぢぢぢぢ)  
 このやうぢ (かぢぢぢ)  
 これは (かぢぢぢぢぢ)  
 こもあたらしう (かぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ)  
 これはまた (かぢぢ)  
 こばらのかり (かぢぢぢぢぢぢぢ)  
 こゝろをぢぢぢ (かぢぢぢぢぢぢぢ)







こころをくさす (こころをくさす)

こころをさす (こころをさす)

こころ (こころ)

こころ (こころ)

こころ (こころ)

こころ (こころ)

こころ (こころ)

こころ (こころ)

こころ (こころ)

こころ (こころ)

こころ (こころ)

こころ (こころ)

こころ (こころ)

こころ (こころ)

● 心之部 (こころ)

こころ (こころ)

こころ (こころ)

こころ (こころ)

こころ (こころ)



えしれもあら (うたて)

えんりよあしよ (おしたちのたかへんのうたはつもの  
えんりよあしよ)

えだができる (えだたき)

えんばらよ (えんばらよめはるにのほるかに)

えんのあし人 (うたき人)

えきもあらしこやよ (うたしらす)

えつばよらる (えつばあしらす)

えらりのとうしもの (えらのがたうら)

●て之部

てうしよのつて (のりてのころのつて)

てんがうする (たてぶるゝたはる)

てんがうがまごよある (たてむれよ)

てんをふさぐ (あまぎるの書なきによめり)

てよくら (うたき)

てまへひまの (わたしの入やりなら)

てもとよあるやうさ (てにあるはら)

てまへばかりのころで (ころあまつ)

てほん (ほんてほん)

てぬけた (ぬけたるの抜群のうた)







てしつゝあかぬやう (せりくまゝく文をちらと書にもせせ、行な

あかぬやう (せりくまゝく文をちらと書にもせせ、行な

てしつゝあかぬやう (せりくまゝく文をちらと書にもせせ、行な

てしつゝあかぬやう (せりくまゝく文をちらと書にもせせ、行な

てしつゝあかぬやう (せりくまゝく文をちらと書にもせせ、行な

てしつゝあかぬやう (せりくまゝく文をちらと書にもせせ、行な

てしつゝあかぬやう (せりくまゝく文をちらと書にもせせ、行な

てしつゝあかぬやう (せりくまゝく文をちらと書にもせせ、行な

てしつゝあかぬやう (せりくまゝく文をちらと書にもせせ、行な

てんがらのやうに (せりくまゝく文をちらと書にもせせ、行な

てんがらのやうに (せりくまゝく文をちらと書にもせせ、行な

てんがらのやうに (せりくまゝく文をちらと書にもせせ、行な

てんがらのやうに (せりくまゝく文をちらと書にもせせ、行な

てんがらのやうに (せりくまゝく文をちらと書にもせせ、行な

てんがらのやうに (せりくまゝく文をちらと書にもせせ、行な

てんがらのやうに (せりくまゝく文をちらと書にもせせ、行な

てんがらのやうに (せりくまゝく文をちらと書にもせせ、行な

てんがらのやうに (せりくまゝく文をちらと書にもせせ、行な

てんがらのやうに (せりくまゝく文をちらと書にもせせ、行な

てんがらのやうに (せりくまゝく文をちらと書にもせせ、行な